

国語3年「私を束ねないで」 O.Y教諭

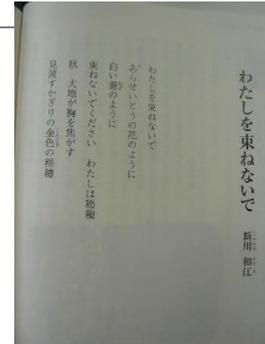
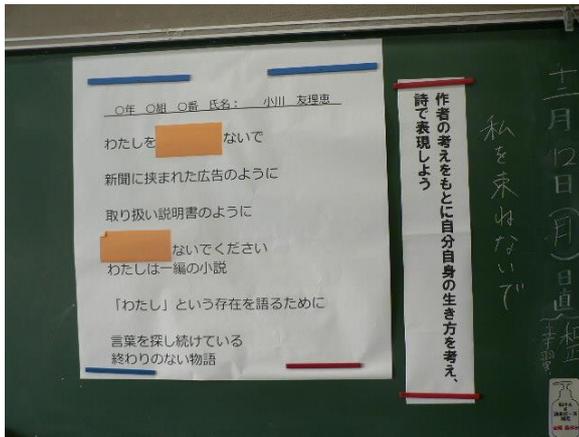


【授業の流れ】

- (1) 詩の音読
- (2) 作者はどんな生き方を望んでいたか。

3年生最後の「読むこと」教材。「わたしを〇〇しないで」という形式で繰り返される作者の思いと、進路選択の岐路に立つ自分とを重ね合わせ、これから「どんな生き方をしていきたいか」を詩で表現する。

- (3) 教師が創作した詩を紹介する。



教師が自分のエピソードを詩に入れて紹介することで、同じ一人の人間として、生徒が親近感を得るとともに、同じ方向を向く形（師弟同行）となる。

- (4) 自分が「してほしくない行為」をペアで確認する。
「してほしい」ことより書きやすさがある。



- (5) ジャムボードを活用して、学級全体で共有。



※終始、穏やかで温かな空気に包まれた学級。卒業までの日々を大切にしていることが伝わってきます。

- (6) 各自が自分と向き合い、生き方を詩で表現する。
※「動」と「静」のメリハリのある展開。



私を怠けさせないで
誰の心にも残らない言葉のように
建前だらけの演説のように
怠けさせないでください
私は赤く黒い土
夢を語り仲間と歩いた
からっ風にも負けない関東平野の土